

井原市の魅力ポイント

■面積 243.54km² ■人口 約3.7万人 ■指定地域 過疎

■【井原デニム】国産デニムのルーツ！「デニムの聖地」

江戸時代から藍染織物の産地として発展。欧米のバイヤーから絶賛されており、ヨーロッパの有名ブランドやアメリカの高級ジーンズアパレル向けに多く輸出。2019年、地域団体商標登録。

【ポスター】井原デニム
（提供／井原商工会議所）



■【美星の星空】天文学者が選んだ！「日本三選星名所」

天体観測の好適地、美星町。1989年に国内で初めて光害防止条例を制定し、星空保護の先駆的役割を長年リード。2021年、アジア初の星空保護区(コミュニティ部門)に認定。



【写真】美星天文台と美星の星空
（提供／美星天文台）



【ポスター】井原のぶどう

■【ブドウ・明治ごんぼう・美星満天豚】優れた農産物！

* 「くだもの王国おかやま」が誇るブドウ作りに適した気候や土地に恵まれた、西日本有数の産地。品質の高さと厳選な選果・選別により、消費者や市場関係者等から高い評価。

* 約250年の歴史がある、粘土質の赤土畑でじっくり育った、きめが細かく筋張っていない、香り高いゴボウ。2017年、イオンリテール(株)のフードアルチザン（食の匠）活動を始動。2021年、地域団体商標登録。

* 世界が認めた星の郷「美星」で育てた極上の豚肉。飼料にコメを混ぜた特別な飼料が与えられた豚は、透き通るような脂と、きめの細かい肉質が特長。2022年、商標を取得。



【ポスター】明治ごんぼう



【ポスター】美星満天豚
（提供／JA晴れの国岡山）

井原市の課題

■ 政策分野 地域振興・地域活性化

■ 「賑わい創出拠点」の整備

- 井原市芳井地区では、**人口減少、少子化・高齢化の進展**に伴い、**医療、福祉、産業、公共交通**など広く問題が生じている。
- 一方、県が行う橋梁の架け替え事業に伴い、芳井地区にある唯一のスーパーが支障となる。
- 地元スーパーの代替機能のほか、**交流人口増加、防災体制の強化、産業の活性化等を目的とした「賑わい創出拠点」の整備を検討**。⇒「賑わい創出拠点」は、道の駅やかわまちづくり施設を想定

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 月1回程度でオンラインで打合せ（5月、6月、9月、11月、R6.1月）
- 賑わい創出拠点候補地や、主要観光地、ぶどう選果場、農産物直売所、近隣の道の駅等を視察（7月）
- 賑わい創出拠点整備検討会議への出席（第1回：R6.1月）



県指定名勝の天神峡
（紅葉でも有名）



賑わい創出拠点候補地

今後の方針

- 月1回程度のペースで開催される検討会議に出席し、課題や方向性を把握する。
- 上記会議で挙げられた検討事項等について、情報収集のうえ適宜アドバイスを行う。